

〈sein+自動詞の過去分詞〉における完了形と結果状態

池内 宣夫

*sein + Partizip II, Perfekt oder Resultativkonstruktion?*

IKEUCHI, Nobuo

大分大学教育福祉科学部研究紀要 第37巻第2号

2015年10月 別刷

Reprinted From

THE RESEARCH BULLETIN OF THE FACULTY OF

EDUCATION AND WELFARE SCIENCE,

OITA UNIVERSITY

Vol. 37, No. 2, October 2015

OITA, JAPAN

## 〈sein+自動詞の過去分詞〉における完了形と結果状態

池内 宣夫\*

【要旨】 現代ドイツ語において〈sein+自動詞の過去分詞〉は完了形であると同時に結果状態を表す構文である。結果状態表現は潜在的に多くの〈sein+自動詞の過去分詞〉において可能である。それは〈sein+過去分詞〉が結果状態構文として確立していることと関係する。それにもかかわらず、結果状態表現の読みにおいて容認性の揺れが観察されるのは、〈sein+自動詞の過去分詞〉において完了形としての解釈（すなわち出来事表現の読み）が優先すること、その解釈のままでも結果状態が含意として伝わることによる。その限りにおいて、結果状態表現の読みは有標的であり、その読みの成立には文脈や場面からの情報の支えを必要とする。

【キーワード】 完了形 結果状態構文 アスペクト

### 1 問題提起

〈sein+自動詞の過去分詞〉の構文は、(1) に示すように動詞が表す出来事の完了を表すとともにそれによってもたらされた結果状態を表す場合がある。

- (1) a. Hanna ist vor einer Woche verreist.  
b. Hanna ist seit einer Woche verreist.

(1a) は言うまでもなく現在完了形であるが、(1b) の構文をどのように解釈するのかについては諸説がある。本稿では、次の問題について考察を試みる。

- ① 〈sein+自動詞の過去分詞〉はどの程度出来事表現と結果状態表現の間で曖昧か。
- ② 結果状態表現の読みにおいて観察される容認性の揺れはどのように説明されるのか。

### 2 結果状態を表す〈sein+自動詞の過去分詞〉

#### 2.1 Gese/Maienborn/Stolterfoht の調査

Gese/Maienborn/Stolterfoht (2011) は、〈sein+自動詞の過去分詞〉がどの程度結果状態を表すのかについて、コーパスと容認性に関するインフォーマントテストに基づく調査を行って

---

平成 27 年 6 月 1 日受理

\*いけうち・のぶお 大分大学教育福祉科学部情報国際講座 (ドイツ語学)

る。

調査では、まずコーパスを用いて期間を表す *seit* 句と共起するグループ（非対格動詞 1）と共起しないグループ（非対格動詞 2）に分類される。

(2) 非対格動詞 1

wachsen, welken, verreisen, verschwinden, ablaufen, verstreichen, versinken, erlöschen, anlaufen, schwellen, wegfallen, vergehen, abwandern, entbrennen, weichen, einkehren, verstummen, abreißen, steigen, sinken

(3) 非対格動詞 2

entstehen, erscheinen, kommen, fliehen, zusammentreffen, fallen, umkommen, platzen, sitzenbleiben, hochspringen, explodieren, geschehen, auftauchen, einsteigen, gelingen, anreisen, eintreten, erfolgen, bekannt werden, passieren

次いで、それぞれのグループの動詞について *seit* 句との容認性に関するインフォーマントテストを行っている。その結果は、非対格動詞 1 の平均値 2.0 に対し、非対格動詞 2 は 4.3<sup>1)</sup> であった。最後に、分散分析 (Anova) を行い、動詞タイプと副詞句 (*seit/vor*) の間の相関が有意なものであることを検証している。参考のために、非対格動詞 1 からインフォーマントテストで用いられた例文の一部を挙げる。

- (4) a. Die Investoren sind seit einigen Monaten abgewandert.  
 b. Die Blumen sind seit Tagen verwelkt.  
 c. Das Bein ist seit zwei Tagen geschwollen.  
 d. Das Gemälde ist seit Jahren verschwunden.  
 e. Die Leuchtreklame ist seit Monaten erloschen.

この調査にはいくつかの問題点がある。一点目は、調査対象となった非対格動詞そのものについてである。非対格動詞 1 はコーパス調査において期間を表す *seit* 句と共起する事例が確認されたものであるが、その数は 20 語であり、十分とは言えない。二点目は、インフォーマントテストで用いられた例文に比喩的な用法が少なからず含まれている点である ((18) 参照)。比喩的用法では容認性が高まることは彼女ら自身も認めている。そして三点目は、非対格動詞 1 と非対格動詞 2 の意味的な分布について考察されていない点である。*sein* 支配の自動詞の意味については、伝統文法によれば移動 (位置変化)、状態変化、出現・消滅などとされるが、意味との関連については考察が行われていない。

## 2.2 本調査の内容と方法について

本研究の調査はまず、インターネット上のデータを用いて Gese/Maienborn/Stolterfoht の調査において *seit* 句と共起することが確認された動詞 (非対格動詞 1) 以外の事例を検索する。<sup>2)</sup> その際、対象は本来的な用法 (特に移動 (位置変化) 動詞においては、具体的空間的移動 (位置変化) が表されているもの) に限定する。なお、*seit* 句と共起しない非対格動詞 2 に分類された動詞については再検索する。さらに、インフォーマントテストにおいて比喩的な文例が用い

られている非対格動詞 1<sup>3)</sup>については、改めて本来の用法の事例を検索する。そして最後に、本調査で seit 句と共起することが確認された動詞について、意味と結果状態表現としての可能性との関連性について考察を試みる。

なお、seit 句と共起する事例<sup>4)</sup>に加え、参考としていわゆる「二重完了形 (Doppelperfekt)」で現れている事例も挙げる。「二重完了形」とは〈sein+過去分詞+gewesen〉よりなる形式である。これは口語的・方言的用法とされるが、Breuer/Dorow (1996: 78f.) によれば、標準ドイツ語において二重完了形には結果表現としての存在理由があるとする。

### 2.3 調査結果と考察

以下、非対格動詞 1 以外の動詞で seit 句と共起する事例が確認された動詞を意味グループごとに挙げ、その事例の一部を挙げる。これ以外の事例については、資料を参照のこと。

(イタリックは非対格動詞 2 の中に挙げられていたもの。下線付きは非対格動詞 1 のうち比喩的用法がインフォーマントテストで用いられていたもの。? 付きは seit の用法に疑義が残るもの)

状態変化動詞<sup>5)</sup> :

abblättern, abbrennen, abbröckeln, abmagern, abreißen, abstumpfen, anschwellen, aufblühen, aufplatzen, aufweichen, ausbleichen, ausdörren, auskühlen, biegen, brechen, einschlafen, erblinden, erkalten, erkranken, fluten, frieren, gedeihen, genesen, heilen, *platzen*, reißen, rosten, schmelzen, schrumpfen, tauen, trocknen, verarmen, verblassen, verderben, verdrecken, vereisen, vereitern, verfaulen, vergilben, verkalken, verkommen, verkrümmen, vermodern, vernarben, veröden, verrotten, verschimmeln, verschlammten, verschleifen, verschmieren, verschorfen, verstauben, versteifen, vertrocknen, verweisen, verwesen, volllaufen, wachsen, zerbrechen, zerbröseln, zerfallen, zerfasern, zerreißen, zersplittern, zerspringen

- (5) a. Die Gewölbe der Bogenkonstruktion sind seit langem **gebrochen**.  
 b. ... der Muttermund hatte sich nicht geöffnet und die Fruchtblase war seit 24h **geplatzt**.  
 c. ... ist der Putz seit langem **abgebröckelt** und nass.  
 d. ... ist das Büro ... seit Jahrzehnten **verstaubt**.  
 e. Der Autor ist Journalist und seit 2008 an ALS **erkrankt**.
- (6) a. Vielleicht ist das Bein gar nicht **gebrochen** gewesen.  
 b. Die Galle war **geplatzt** gewesen, eine weitere Operation war notwendig geworden ...  
 c. ... nur auf der Fassade ist teilweise Putz **abgebröckelt** gewesen.  
 d. Mein PC ... Da er sehr lange nicht genutzt wurde, ist er **verstaubt** gewesen.  
 e. Außerdem ist die zuständige Mitarbeiterin beim Wupperverband zuletzt **erkrankt** gewesen.

移動（位置変化）動詞：

abfallen, abfliegen, abhauen, absacken, ankommen, *anreisen*, anrollen, auswandern, eindringen, einfallen, einmarschieren, einstürzen, eintreffen, enteilen, entkommen, entlaufen, *fallen*, *fliehen*, flüchten, hervorkriechen, landen, ?rinnen, ?sickern, strömen, überlaufen, übersiedeln, umkippen, umziehen, unterschlüpfen, weggehen, weglaufen, wegziehen, zurückkehren, zurückkommen, zurückweichen, zusammenkommen, zusammenziehen, zustoßen, zuziehen

- (7) a. ... das Knacken von Ästen ..., die unter der Last des Schnees nachgeben, der seit Tagen **gefallen** ist.  
 b. ... er ist nun seit zwei Tagen **angekommen**, fängt es tatsächlich wieder an zu schneien ...!  
 c. Die führenden Beamten waren seit Wochen **geflohen** ...  
 d. ... begrüßte ich die Sportler und Trainer ..., die schon seit dem Vormittag **angereist** sind.  
 e. Er ist schon seit längeren **ausgewandert** ....
- (8) a. Der erste Schnee ist **gefallen** gewesen und die Ausrüstung war auch bereit.  
 b. "Unsere Leute sind kaum in Deggendorf **angekommen** gewesen, da ..."  
 c. Knapp 900.000 Menschen sind zum Höhepunkt der Krise aus der Region **geflohen** gewesen ...  
 d. Aus Deutschland waren ausser Oster noch folgende Bischöfe zur Teilnahme **angereist** gewesen:  
 e. ... Berichte von Menschen, die bereits **ausgewandert** gewesen waren ...

出現・消滅：

*auftauchen*, auftreten, aussterben, *entstehen*, *erscheinen*, verblühen verdampfen, verhallen, verklingen, verstummen

- (9) a. Die moderne Promenade "Bei der Erholung" ist erst seit 2003 **entstanden**.  
 b. Das Buch ist nunmehr seit 37 Jahren **erschienen**, ....  
 c. Die Gebirgsform, der Kaukasus-Wisent ... , ist seit 1927 **ausgestorben**.  
 d. Die anderen Thymianpflanzen sind schon seit Monaten **verblüht**.
- (10) a. Ein Rohmanuskript sei damals bereits **entstanden** gewesen.  
 b. Zu diesem Zeitpunkt sei der Prospekt bereits **erschienen** gewesen;  
 c. ... beispielsweise bei der Wildkatze. Sie ist hierzulande fast **ausgestorben** gewesen.  
 d. Unsere Pfingstrosen sind in diesem Jahr schnell **verblüht** gewesen, ...

本調査から，結果状態表現としての〈sein+自動詞の過去分詞〉は Gese/Maienborn/

Stolterfoht の調査結果よりも実際にはかなり多く観察されることがわかる。その理由としてインターネット上のデータの規模の違いとさまざまな言語的な位相のデータが含まれていることが考えられる。

結果状態表現と動詞の意味との関連については、単純に計量的な分析はできないが、概ね次の傾向が指摘できよう。

結果状態表現として最も成立しやすいのは状態変化動詞である。それは、動詞の表す出来事の結果が主語の指示対象の状態において観察できることに起因すると考えて間違いないであろう。それゆえ、状態変化動詞の中でも特に結果状態が明確に定義できる動詞<sup>6)</sup>において最も結果状態表現との親和性が高いと考えられる。そのような動詞として、brechen, biegen, frieren, trocknen, rosten, genesen や名詞や形容詞から派生された er 動詞, ver 動詞などが挙げられる。因みに、Litvinov/Nedjalkov (1988: 32) も結果表現は状態変化、「なる動詞 (die Verben des Werdens, des So-Werdens)」に典型的であるとしている。

移動 (位置変化) 動詞については、状態変化動詞よりも結果状態表現としての成立には制約があるようである。それは、移動 (位置変化) 動詞においては、結果状態とは主語の指示対象の位置に関するものであり、そのあり様において観察されるものではないからと考えられる。Litvinov/Nedjalkov (1988: 33) も、移動 (位置変化) 動詞は出来事表現と解釈されやすいと述べている。ただし、調査の結果から、移動 (位置変化) 動詞のうち、主語の指示対象の移動後の位置が焦点化される位置変化動詞 (fallen, fliehen, landen, entkommen, ankommen, auswandern など) においては、移動そのもの (その状態・手段など) が表される移動動詞 (laufen, gehen, spazieren, reiten, reisen など) よりも結果状態表現が成立しやすいという傾向的特徴が伺える。移動動詞が前綴化され、位置変化が焦点化されると、結果状態表現として成立しやすくなることは、このこととの関連で指摘に値する。例えば、移動動詞 gehen, kommen, laufen, marschieren, reisen に対して、その位置変化動詞 weggehen, entkommen, entlaufen, einmarschieren, anreisen は結果状態表現として成立しやすくなる。

最後に、出現・消滅を表す動詞 (erscheinen, auftreten, entstehen など; verschwinden, erlöschen, verhallen など) については、十分に調査できなかった。しかしながら、特に消滅を表す動詞において、結果状態は主語の指示対象における状態変化としても捉えることができるため (例: aussterben, verblühen, verdampfen など)<sup>7)</sup> 結果状態表現と親和性が高く、他方、出現を表す動詞では、主語の指示対象は当該出来事以前には存在しておらず、その状態変化として観察されるものではないことから、結果状態表現との親和性はより低いと推察される。

### 3 結果状態表現にみられる揺れについて

#### 3.1 〈sein+自動詞の過去分詞〉の過去分詞について

〈sein+自動詞の過去分詞〉の二つの読み、すなわち出来事の完了を表す出来事表現 (Eventiv) とその結果を表す状態表現 (Stativ) は、それぞれ異なる構文として分析されるべきなのか、そうであるとすれば、それはどのように分析されるのか、は今なお決着のついていない問題である。前者は (完了の) 助動詞と過去分詞に分析されるという立場を取ると、後者をコプラと過去分詞に分析することもできる。その場合、過去分詞の扱いが問題となるが、過去分詞を形容詞として捉える方向がある。例えば Gese/Maienborn/Stolterfoht (2011) は「形

容詞化した動詞的分詞 (adjektiviertes verbales Partizip)」とする。結果状態構文の過去分詞がどの程度まで形容詞化しているのか<sup>8)</sup>については、議論の余地のあるところである。<sup>9)</sup>形容詞化との関連で最も問題となるのは、なぜ、上で seit 句との共起性において見てきたように、結果状態表現ではその容認性に揺れがあるのかという点である。もし完全に形容詞化しているのであれば、主語との意味的な不整合がない限り、容認性の問題は起こらないはずである。ここでは、過去分詞の問題にはこれ以上立ち入らず、完了形としての〈sein+自動詞の過去分詞〉がある一方で、同形の結果状態構文が存在するという立場をとり、その上で、結果状態表現としての読みにみられる容認性の揺れはどのように説明されるのかについて考察を行う。

### 3.2 完了形において表される結果状態

ドイツ語の完了形は時制的 (temporal) であり、そして (あるいは) アスペクト的 (aspektuell) であるとされる。時制的とは当該の出来事が過去にあること、アスペクト的とはその出来事の完結が表されることを言う。後者により、結果動詞においては出来事の完結によりもたらされた結果状態がある時点において有効であることが表される。例えば、完了形としての (11a), (11b) ではそれぞれ「川は凍結した」、「Hanna は外出した」だけでなく、その結果として発話時において「川は凍結している」、「Hanna は外出している」ことも表される。

- (11) a. Der Fluss ist zugefroren.  
b. Hanna ist ausgegangen.

ただし、出来事の完結と結果状態を意味的に同じレベルのものとみなしてよいかについては、議論の余地のあるところである。例えば Helbig (1983: 62) によれば、完了形で直接的に言語化されているのは過去における出来事であり、結果状態は間接的に表される、とされる。すなわち、結果状態とはあくまでも出来事の完結から推論されるものとする見方である。完了形において結果状態は「含意」として表されているとするのが妥当であろう。結果状態に関する意味内容が含意であることは、これが言語的に否定されうることにおいて示される。

- (12) a. Der Fluss ist zugefroren, aber inzwischen wieder fast frei.  
b. Hanna ist ausgegangen. Aber sie ist inzwischen wieder da.

ただし、含意が言語化される意味内容よりも重要度が低いとは限らない。(特に語用論的) 文脈・場面によっては、出来事の完結よりもその結果状態が陳述の中心をなす場合がある。例えば (11a) が眼前の川の様子を話題にしている場合、(11b) が Hanna の所在を尋ねる質問に対して発話された場合などである。あるいは (13) を見られたい。

- (13) a. Vor allem tagsüber, wenn die berufstätigen Feuerwehrleute zu ihren Arbeitsplätzen in der Stadt gependelt sind, wird das knapp: (Spiegel 2015, Nr.12, 32)  
b. Tagsüber ... seien die Männer zu Kampfeinsätzen losgezogen und abends heimgekommen. (Spiegel 2015, Nr.7, 44)

(13) は共に完了形としての解釈が有力である。(13a) では *wenn* 節中の *gependelt sind* はアスペクト的な完了形の用法であり、「出勤したあと」という内容が表されている。(13b) では *losgezogen* は *heimgekommen* と *sein* を共有する完了形とみなすのが妥当である。他方では、*tagsüber* によりそれぞれの出来事の完結ではなく、それによって含意される結果状態についての陳述となっていることは明らかである。

このように、完了形は確かに結果状態表現として用いられる場合がある。しかし、結果状態はあくまで含意であるため、言語的手段によりそれが明示的に叙述される場合には容認性の低下を伴う。*seit* 句との共起性において観察される容認性に関する判断の揺れは、まさしく〈sein+自動詞の過去分詞〉はまず完了形として解釈されることを示すものである。

これに関連して、〈haben+過去分詞〉についてはあるが、興味深い指摘がある。Rathert (2006) は (14a) について、「周縁的に (*marginally*) しか容認できない」とした上で、このような文を容認する人たちは *seit* 句を時点の副詞に解釈し直しているのであろうとする。つまり、(14a) を (14b) として解釈しているとする。

- (14) a. Charlie hat die Lampe seit gestern umgeworfen.  
b. Charlie hat die Lampe gestern umgeworfen.

(Rathert 2006: 539)

筆者によれば、これは、(14b) を用いずに (14a) を用いる発話者は結果状態を表そうとする意図があること、しかし、(14a) はまず完了形として解釈されるため、含意と *seit* 句による明示的叙述の不整合が表面化し、そこから容認性の揺れが生じるというエンコード (発話) 側とデコード (解釈) 側のずれを示すものとする。

### 3.3 結果状態構文としての〈sein+過去分詞〉

*seit* 句との共起性の問題のもうひとつの側面は、(エンコード側とデコード側の両方で) これを容認する母語話者も多くいるという事実である。ここでは、現代ドイツ語において〈sein+過去分詞〉は結果状態構文として確立していることについて述べていく。

〈sein+過去分詞〉が結果状態構文として確立していることを示す最も端的な例は、*haben* と *sein* の両支配である自動詞において、出来事表現と結果状態表現が対立するという事実である。(15) では同一の動詞が *haben* 支配では出来事表現 (15a), (15c), *sein* 支配では結果状態表現 (15b), (15d) として対立している。

- (15) a. Gestern war es schrecklich nass. Das Obst hat gefault.  
b. Du kannst das Obst nicht essen. Es ist gefault.  
c. Die Wäsche hat im Keller getrocknet und nicht auf dem Balkon.  
d. Die Wäsche ist getrocknet. Wir können sie hereinholen.

(Diedrichsen 2002: 40)

さらに、〈sein+過去分詞〉が結果状態構文として確立している現れとして、それが特定の構文に限定されたものではないことが挙げられる。例えば、〈sein+他動詞の過去分詞〉は状態受

動を表す構文である。しかしながら、状態受動として捉えられる構文も実際にはさまざまな変種がある。

- (16) a. Das Auto ist gewaschen.  
 b. Hanna ist erkältet.  
 c. Die Stadt ist von zwei Millionen Menschen bewohnt. (Helbig 1983: 52)  
 d. Hanna ist informiert.

(16)において、真の状態受動と呼べるのは(16a)のみである。(16a)は動作受動に対応し、それによって表される出来事の完結により生じた結果状態を表す。(16b)は確かに結果状態を表しているが、対応する出来事表現は再帰文(Hanna hat sich erkältet.)<sup>10)</sup>である。(16c)については、対応する出来事表現としての動作受動も存在しないし、<sup>11)</sup>それゆえそれから生じた結果状態を表しているわけでもない。(16c)は動作受動が対応しない状態受動、あるいは状態表現であるということになる。また(16d)については、複数の出来事表現が対応する。それらは、動作受動(Hanna ist informiert worden.)と再帰文(Hanna hat sich informiert.)である。このように見てくると、〈sein+過去分詞〉はまず(結果)状態を表す構文として存在し、それが結果状態である場合でも、それをもたらした出来事表現との対応は二次的なものであることがわかる。

このような見解は、何人かの研究者において見られる。例えば Litvinov/Nedjalkov (1988: 2ff.)は、〈sein+過去分詞〉は「結果状態表現のカテゴリーの基本形(kategoriale Basis des deutschen Resultativs)」であるとする。Leiss (1992: 165ff.)においては、一つの形式(〈sein+過去分詞〉)には一つの意味機能(結果状態表現)が対応するとし、状態受動のみならず完了形(〈sein+自動詞の過去分詞〉)もそのもとに収斂させている。このような見解においては、〈sein+過去分詞〉は目的語に関する結果状態表現(Objekresultativ)、主語に関する結果状態表現(Subjektresultativ)に区別されるのみである。もちろん前者が状態受動、後者が完了形〈sein+自動詞の過去分詞〉(の結果状態表現)である。しかし、その区別でさえ表層では現れない場合がある。

- (17) a. Die Mauer ist zerbrochen.  
 b. Der Knopf ist abgerissen.

(17)は目的語に関する結果状態表現、主語に関する結果状態表現のいずれでもありうる。(17)について言えるのは、共に結果状態を表しているということのみである。

Leiss (1992: 165ff.)の言うように、〈sein+過去分詞〉は(さまざまな用法以前に)まずドイツ語母語話者の意識に存在しているのかもしれない。結果状態を表す〈sein+過去分詞〉は自動詞の完了形や状態受動として文法化する以前から存在するものである。その限りにおいて、〈sein+自動詞の過去分詞〉が結果状態表現と結び付くのはむしろ当然のことである。

では、それにもかかわらず、結果状態表現としての〈sein+自動詞の過去分詞〉が容認性に揺れがあるのはなぜか。前節で述べた完了形としての解釈が優先することと本節の〈sein+過去分詞〉が結果状態構文として確立していることはどのように調和できるのか。筆者は、完了形に

において結果状態が含意であれ、すでに表されるため、その明示的な表現の成立には相応の要件が課されると考える。つまり、結果状態表現としての〈sein+自動詞の過去分詞〉は完了形よりも有標的な (markiert) 構文と考える。このことは状態受動についても指摘できる。動作受動に比べ、状態受動の成立には制約がある。それは、動作受動の完了形によって、すでに結果状態が含意として伝えられることと関係がある。ただし、状態受動の場合は動作受動の完了形と関連付けられるだけではなく、構文としての動作受動とも形式的に対立する<sup>12)</sup>ため、少なくとも状態表現の読みは保障されているのに対し、結果状態表現としての〈sein+自動詞の過去分詞〉は完了形と同形であるために、二つの読みの競合はより解消されにくい。

### 3.4 結果状態表現の読みを支えるもの

上で、〈sein+自動詞の過去分詞〉が結果状態表現として成立するには相応の要件が課されるとした。その要件とは、表される結果状態の情報度の高さ (saliency) である。

Gese/Maienborn/Stolterfoht (2011: 132f.) は、結果状態の情報度が高くなる場合として、比喩的用法と語用論的要因を挙げている。比喩的用法において seit 句が共起しやすいことについては、「分詞の比喩的解釈はより負担を強いる (more costly) ものであり、特に情報度の高い結果状態に言及することによって正当化されなければならない」と述べている。その例の一部を (18) に挙げる。

- (18) a. Die Preise sind seit drei Tagen gesunken.  
 b. Die Terrorgefahr ist seit dem Wochenende gestiegen.  
 c. Die Subventionen sind seit einem halben Jahr weggefallen.  
 d. Das Vertrauen ist seit drei Monaten gewachsen.

(Gese/Maienborn/Stolterfoht 2011: 134f.)

例えば「価格が下落した」(18a) や「テロの危険が増大した」(18b) ことによる結果は具体的な事物の空間的移動の結果よりも社会に及ぼす影響という点で情報度が高いとみなされることになる。この説明の妥当性は別として、動詞によっては本来的用法よりも比喩的な用法で結果状態表現が成立しやすいことは、筆者の行った調査においても確認された。<sup>13)</sup>

語用論的要因については、Gese/Stolterfoht/Maienborn (2009: 149) から次の例を挙げる。

- (19) Der Passagier ist doch seit zwanzig Minuten eingestiegen.

(19) は中立的なコンテキストでは容認性は低いだが、例えば「乗客が一人遅れていたため、離陸を見合わせていたが、その乗客はすでに 20 分前に乗り込んでおり、それを知らずに離陸しようとする機長に客室乗務員が言った文」であるとすれば容認性が高くなるとする。

このように見てくると、適切な文脈・場面さえあれば、seit 句を含む〈sein+自動詞の過去分詞〉はすべて潜在的に容認されうると言える。このことは、Gese/Maienborn/Stolterfoht (2011: 133) も指摘するところである。ただし、それはあくまでも文脈・場面に依存して成立するものであり、それが有標的なものであること、つまり出来事表現としての読みがあくまでも優先する結果であることには変わりない。

#### 4 二つの構文か、一つの構文の二つの読みか（まとめにかえて）

以上の考察の結果は次の通りである。結果状態表現は潜在的に多くの〈sein+自動詞の過去分詞〉において可能である。それは〈sein+過去分詞〉が結果状態構文として確立していることと関係する。それにもかかわらず、結果状態表現の読みにおいて容認性の揺れが観察されるのは、〈sein+自動詞の過去分詞〉において完了形としての解釈（すなわち出来事表現の読み）が優先すること、その解釈のままでも結果状態が含意として伝わることによる。その限りにおいて、結果状態表現の読みは有標的であり、その読みの成立には文脈や場面からの情報の支えを必要とする。

もっとも、〈sein+自動詞の過去分詞〉においてこの二つの読みが常に明確に区別できるわけではない。以上では、結果状態表現を seit 句との共起性を手がかりに捉えたが、そのような出来事表現としての解釈を排除する手がかりがある場合は特殊であり、二つの読みが並存する場合のほうがむしろ普通であると思われる。その究明には、ドイツ語母語話者が〈sein+自動詞の過去分詞〉をどの程度二つの構文として使い分けているのか、二つの読みを区別しているのかについての意識調査が必要になる。

最後に、この問題を違う角度から眺めてみたい。〈haben+名詞句+過去分詞〉は、〈sein+自動詞の過去分詞〉と同様に出来事表現と結果状態表現の二つの読みをもつ。前者はもちろん完了形としての読みであり、後者は「～をある状態にしている」という読みである。<sup>14)</sup>これを (20) に示す。

- (20) a. Stefan hat das Tool installiert.  
 b. Stefan hat die Datei geöffnet.  
 c. Stefan hat die Augen geschlossen.

〈sein+自動詞の過去分詞〉と異なるのは、後者の読みは統語・意味構造的にも異なる構文（所有・結果状態構文）として分析できるということである。これが最も端的に現れている例を (21) に挙げる。

- (21) a. Das Pferd hat die Fesseln bandagiert.  
 b. Der Wagen hat Kohle geladen.  
 c. Der Baum hat Kerzen aufgesteckt.

(21) ではそれぞれの主語が過去分詞で現れている動詞の動作主でないことから、完了形でないことは明らかである。他にも、所有・結果状態構文は完了形との形式的な異なりによりそれと分かる場合がある。

- (22) a. Hanna hat die Haare gefärbt.  
 b. Die Jacke hat sie ausgezogen.  
 c. Ihre Arme hat sie ausgestreckt.

(22) は再帰代名詞の不在 (22a) や語順 (22b) あるいは所有冠詞の使用 (22c) において、完了形とは差別化されている。<sup>15)</sup> 対応する完了形は (23) である。

- (23) a. Hanna hat sich die Haare gefärbt.  
 b. Sie hat [sich] die Jacke ausgezogen.<sup>16)</sup>  
 c. Sie hat die Arme ausgestreckt.

〈haben+名詞句+過去分詞〉の二つの読みにおいてみられる形式的な差別化への傾向は、ドイツ語母語話者がある程度、出来事表現と結果状態表現を二つの異なる構文として意識していることを示唆する。これに対して、〈sein+自動詞の過去分詞〉においては二つの読みは常に同形である。もし形式的な差異の有無と読みとの間になんらかの相関があるとすれば、〈sein+自動詞の過去分詞〉においては〈haben+名詞句+過去分詞〉に比べ、二つの構文という意識はより薄いと考えられる。すなわち、二つの読みの競合はより解消されにくいことが考えられる。

## 注

- 1) 1~6段階評価で1が最も「よい、自然である」との評価になる。
- 2) インターネット上のデータを調査対象にすることには是非があるが、これ以上の規模の「コーパス」は存在しないこと、また、今回の研究対象が揺れが観察される現象に関するものであることから、実際の言語使用が反映されるインターネット上のデータの利用が有効であると考えた。
- 3) *wegfallen, wachsen, abreißen, steigen, sinken, verstummen*
- 4) 完了形における *seit* の問題については、*von Stechow (2002), Löbner (2002), Musan (2003), Rathert (2006)* を参照。出来事や動作が継続・反復した期間を表わす *seit* (例: *Er ist seit einem Jahr in ein Fitnessstudio gegangen.*) や期間枠を設定する、いわゆる *existential* な用法 (例: *Über 400 Drohnen sind seit 2001 abgestürzt.*) は当然除外される。しかし、その判別は必ずしも容易ではない。
- 5) 状態変化動詞の中には自他両用動詞が含まれている (*aufweichen, verderben, zerbrechen* など)。これらの事例については、動作主がどれほど明確に想定されるのかにより判定した。
- 6) *Diedrichsen (2002: 39)* 参照。
- 7) *Diedrichsen (2002: 42)* も、出現・消滅は状態変化、あるいは移動 (位置変化) の一種とみなしうることに、その違いは、出現・消滅では「出来事前の状態」あるいは「出来事後の状態」のいずれかが欠けていることであると述べている。
- 8) 確かに、形容詞化の判定に用いられるいくつかの基準を〈sein+自動詞の過去分詞〉は満たしているが (例: 「真の形容詞との並列」*Der Putz ist seit langem abgebröckelt und nass.*)、満たさない場合も多くある。
- 9) 過去分詞を巡る議論には多分に形式主義的なところがある。構成素分析においては、過去分詞は動詞のパラディグマ (例えば完了や受動) の構成素か形容詞の下位構成素のいずれかでなければならない。
- 10) *Helbig (1983: 50)* の *Zustandsreflexiv*。
- 11) *Helbig (1983: 52)* は *werden* 受動 (*Die Stadt wird von zwei Millionen Menschen bewohnt.*) を認めているが、それが動作を表しているわけではないとする。

- 12) 例えば, *Der Keller ist nicht geheizt.* は *Der Keller ist nicht geheizt worden.* のみならず *Der Keller wird nicht geheizt.* と関連付けられるため, 結果状態の読みならず, 出来事表現(動作受動)との対比から状態表現の読みがもたらされる。
- 13) 比喩的な用法は圧倒的に移動(位置変化)動詞において多く観察された。このことから, 移動(位置変化)動詞では比喩的用法(具体的空間的移動から抽象的移動への転用)が結果状態表現としての成立を助けると言えるであろう。
- 14) 結果状態を表す〈haben+名詞句+過去分詞〉に関する研究として, Latzel (1977), Leirbukt (1981), Litvinov/Nedjalkov (1988), Löbner (2002), Sebastian (2002), 池内 (2010) などがある。
- 15) Litvinov/Nedjalkov (1988: 41ff.)。
- 16) 与格の再帰代名詞が随意的である場合, これを実現することにより完了形に一義化できる(池内 2010: 4)。

### 参考文献

- Breuer, Christoph / Dorow, Ralf (1996): *Deutsche Tempora der Vorvergangenheit*. Trier.
- Diedrichsen, Elke (2002): *Zu einer semantischen Klassifikation der intransitiven HABEN- und SEIN-Verben im Deutschen*. In: Graham Katz, Sabine Reinhard, and Philip Reuter (eds.), *Sinn & Bedeutung VI, Proceedings of the Sixth Annual Meeting of the Gesellschaft für Semantik*, University of Osnabrück.: 37-52.
- Gese, Helga / Maienborn, Claudia / Stolterfoht, Britta (2009): *Context effects in the formation of adjectival resultatives*. In: Winkler, S. / Featherston, S. (eds.): *The Fruits of Empirical Linguistics, Bd. 2, Product*, Berlin, New York: 125-155.
- Gese, Helga / Maienborn, Claudia / Stolterfoht, Britta (2011): *Adjectival conversion of unaccusatives in German*. In: *Journal of Germanic Linguistics* 23(2): 101-140.
- Helbig, Gerhard (1983): *Studien zur deutschen Syntax. Bd.1*. Leipzig.
- Latzel, Sigbert (1977): *haben+Partizip und ähnliche Verbindungen*. In: *Deutsche Sprache* 4: 289-312.
- Leirbukt, Oddleif (1981): *"Passivähnliche" Konstruktionen mit haben+Partizip II im heutigen Deutsch*. In: *Deutsche Sprache* 9: 119-146.
- Leiss, Elisabeth (1992): *Die Verbkategorien des Deutschen. Ein Beitrag zur Theorie der sprachlichen Kategorisierung*. Berlin, New York.
- Litvinov, Viktor / Nedjalkov, Vladimir (1988): *Resultativkonstruktionen im Deutschen*. Tübingen.
- Löbner, Sebastian (2002): *Is the German Perfekt a perfect perfect?* In: Graham Katz, Sabine Reinhard, and Philip Reuter (eds.)(a.a.O.): 255-277.
- Musan, Renate (2003): *Seit-adverbials in Perfect constructions*. In: Alexiadou, A. / Rathert, M. / Stechow, A.v. (Hrsg.): *Perfect Explorations*. Tübingen: 253-277.
- Rathert, Monika (2006): *Simple preterit and composite perfect tense: The role of the adjectival passive*. In: Abraham, W. / Leisiö, L. (Hrsg.): *Passivisation and typology: Form and function*, Amsterdam: 518-543.
- Stechow, Arnim von (2002): *German seit 'since' and the ambiguity of the German perfect*. (<http://www2.sfs.uni-tuebingen.de/~arnim10/Aufsaeetze/German-Participles-II.pdf>)  
Abgedruckt in: Kaufmann, I. / Stiebels, B. (Hrsg.): *More than Words. A Festschrift für Dieter Wunderlich*. Berlin.
- 池内宣夫 (2010) 「完了形と所有・結果状態構文の間」日本独文学会西日本支部編『西日本ドイツ文学』第22号 1-16.

### 資料：検索結果

(それぞれ一例のみを挙げる。引用は原文のまま。URLは紙幅の関係で挙げない。?付きは seit の用法に疑義が残る場合。検索期間は 2015 年 3 月～5 月)

状態変化動詞

- <abblättern> Die Farbe der Platte zum Abstellen der Edelstahlkanne ist seit 3 Jahren abgeblättert ...
- <abbrennen> ... dass das Gebäude bzw. der Dachstuhl der "alten Post" ja seit einem Jahr abgebrannt ist.
- <abbröckeln> Im Sockelbereich ist der Putz seit langem abgebröckelt und nass.
- <abmagern> Pissnelkes Herrchen, ... ist seit dem Unfall sichtlich abgemagert, ...
- <abreißen> Sein Hemdknopf ist praktisch seit einer Ewigkeit abgerissen, ...
- <abstumpfen> Gefühle des Mitleids und Empathie für Nicht-Juden sind hier seit langem abgestumpft.
- <anschwellen> ... die schilddrüsen sind bei mir auch schon seit Jahren angeschwollen, ...
- <aufblühen> ... im Barockgarten, wo die Rosen seit ein paar Tagen aufgeblüht waren, ...
- <aufplatzen> Die Rinde meiner Obstbäume ist seit zwei Jahren aufgeplatzt.
- <aufweichen> Oberhalb der Kreidefelsen ist der Boden seit Jahren aufgeweicht ...
- <ausbleichen> Die Säulen im Eingangsbereich, ... , waren schon seit mehreren Jahren ausgebleicht, ...
- <ausdörren> Das Gras ... war aber bei gut 35 Grad seit einigen Wochen sehr ausgedörrt.
- <auskühlen> Die letzten in Achern produzierten Glasflaschen sind bereits seit November ausgekühlt, ...
- <biegen> Die Aluminium-Lippen ... sind schon seit Langem gebogen, ...
- <brechen> Die Gewölbe der Bogenkonstruktion sind seit langem gebrochen.
- <einschlafen> Sie ist seit ein paar Minuten eingeschlafen ...
- <erblinden> Seit meiner Geburt bin ich stark sehbehindert und seit 2005 erblindet, ...
- <erkalten> Die Stahlöfen sind seit langem erkaltet, ....
- <erkranken> Der Autor ist Journalist und seit 2008 an ALS erkrankt.
- <fluten> Die Wiese nebenan ist seit Wochen geflutet, das Wasser steigt kontinuierlich.
- <frieren> ... sind bis zu 600 Meter dicke Bodenschichten seit Jahrtausenden gefroren ...
- <gedeihen> ... ist die technische Entwicklung ... seit Jahren soweit gediehen, ...
- <genesen> Nach Ansicht des behandelnden Arztes ist Cheng seit Jahren genesen:
- <heilen> Jetzt ist der Kopfschmerz seit Wochen geheilt.
- <platzen> ... der Muttermund hatte sich nicht geöffnet und die Fruchtblase war seit 24h geplatzt.
- <reißen> Die Tapete ist bereits seit längerem gerissen, ...
- <rosten> ... eine Scheibenklinge ... , welche seit 3 Wochen gerostet ist.
- <schmelzen> Der Schnee ist schon seit langem geschmolzen.
- <schrumpfen> Der Gletscher ist seit einigen Jahren so geschrumpft, dass ...
- <tauen> ... der Schnee ist seit 2 Tagen getaut.
- <trocknen> Die Tinte unter dem Kooperationsvertrag ist schon seit einiger Zeit getrocknet ...
- <verarmen> ... da er seit Jahren verarmt ist.
- <verblassen> Die Fresken in der zerfallenen Dorfkirche sind seit langem verblasst.
- <verderben> Die Lebensmittel sind sicher schon seit langer Zeit verdorben, ...
- <verdrecken> Der Zugang zum Fussgängertunnel ... ist seit Tagen mal wieder verdreckt.
- <vereisen> Die großen Permafrostgebiete ... sind seit Jahrtausenden vereist.

- <vereitern> ... da die Zähne seit längerem stark vereitert waren ...
- <verfaulen> Der Stützbalken ist seit vielen Jahren verfault.
- <vergilben> ... meine Fensterrahmen ..., wenn sie nicht schon seit Jahren vergilbt sind vom Nikotin,
- <verkalken> Die Hähnen sind seit Jahren verkalkt, ...
- <verkommen> Die Craigslist war einmal gut. Ja vorbildlich. Nur leider ist sie seit Jahren verkommen.
- <verkrümmen> Die Wirbelsäule von Paul Sahli ist seit seiner Jugend massiv verkrümmt, ...
- <vermodern> Der Inhalt ist allesamt seit langem verrottet und vermodert.
- <vernarben> ... noch 5% Sehkraft, da der Makulabereich dort seit fast 30 Jahren vernarbt ist.
- <veröden> ... das denkmalgeschützte Depot ist seit Jahren verödet, ...
- <verrotten> Der Inhalt ist allesamt seit langem verrottet und vermodert.
- <verschimmeln> Diese Wohnung ist seit Jahren völlig verschimmelt.
- <verschlammen> Der Weiher im Ortskern ist seit Jahren verschlammt ...
- <verschleifen> ... der Rand der Kleingeldtasche ist schon seit Längerem verschlissen.
- <verschmieren> Die Fahrradabstellanlage der Stadt Philippsburg ist seit Jahren verschmiert.
- <verschorfen> Die Wunde ist seit Wochen verschorft, ...
- <verstauben> ... das Büro ist eigentlich seit Jahrzehnten verstaubt, ...
- <versteifen> Mein Knie ist erst seit kurzem versteift ...
- <vertrocknen> Die Eibenhecken an der Goethestraße sind seit Monaten vertrocknet, ...
- <verwaissen> das Bundestrainer-Amt, das ... seit Juli verwaist war.
- <verwesen> ... eine weitere Leiche - allerdings ist diese bereits seit Jahren verwest ...
- <volllaufen> Die Stelzhamer Unterführung ist seit der Nacht vollgelaufen.
- <wachsen> Die Pflanze Frauenfußball ist in heimischen Vereinen seit Jahren gewachsen ...
- <zerbrechen> ... wenn sie gar keine Scheinwerfer haben, weil die schon seit Jahren zerbrochen sind.
- <zerbröseln> ... die Anschlagpuffer ... Bei meinem Oldie sind die schon seit Jahren zerbröseln, ...
- <zerfallen> Die Kirche ist seit langem zerfallen ...
- <zerfasern> Dieses Band ist seit langem arg zerfasert.
- <zerreißen> ... die Schnüre an dem Reißverschluss des Hauptfaches war schon seit einige Zeit zerrissen, ...
- <zersplittern> Die Scheibe in der Degenhalle ist seit Jahren zersplittert.
- <zerspringen> Die große Glocke aber, ... ist seit mehreren Jahren zersprungen.

#### 移動（位置変化）動詞

- <abfallen> Die Hausnummer Seestrasse "91" ist wohl schon seit Jahren abgefallen.
- <abfliegen> ... teilte man ihnen mit, das gebuchte Flugzeug sei seit Stunden abgeflogen.
- <abhauen> Sein Vater ist schön seit längerem abgehauen ...
- <absacken> Über 30 Meter der Leitbleche seien seit Monaten abgesackt und umgekippt.
- <ankommen> ... er ist nun seit zwei Tagen angekommen, fängt es tatsächlich wieder an zu schneien ...!
- <anreisen>... begrüßte ich die Sportler und Trainer ..., die schon seit dem Vormittag angereist sind.
- <anrollen> Auf dem leerstehende Grundstück ... sind seit gestern die Bagger angerollt.
- <auswandern> Er ist schon seit längeren ausgewandert und lebt von der Olivenöl-Herstellung.
- <eindringen> die Gebiete ....., in denen schon arabische Stämme seit langem eingedrungen ... waren.

- <einfallen> So ist das Dach des Lokschuppen seit Jahren eingefallen.  
 <einmarschieren> ... in das Muong-Dorf ..., dort war bereits der Viet-Minh seit Tagen einmarschiert.  
 <einstürzen> Das Dach ist jedoch schon seit langem eingestürzt.  
 <eintreffen> Bei Thommys Modellshop sind die Hitachi Zaxis Abbruchbagger Modelle ZX1000 K-3, ... nun endlich seit gestern eingetroffen.  
 <enteilen> Norweger, Isländer oder Amerikaner sind schon seit langem enteilt.  
 <entkommen> ... gerät dabei in einen Konflikt, dem er seit Jahren schon entkommen war ...  
 <entlaufen> Unser Kater "Nick" ist seit geraumer Zeit entlaufen.  
 <fallen> ... das Knacken von Ästen ..., die unter der Last des Schnees nachgeben, der seit Tagen gefallen ist.  
 <fliehen> Die führenden Beamten waren seit Wochen geflohen ...  
 <flüchten> ... bis in den Keller, wohin sie seit Monaten geflüchtet war, ...  
 <hervorkriechen> ... die Garage. Aus jener sind Marcelo und Jonas nämlich bereits seit geraumer Zeit hervor gekrochen ...  
 <landen> Der Jet ist schon seit vier Stunden gelandet.  
 ?<rinnen> ... das Wasser ist seit min. Monaten unbemerkt geronnen:  
 ?<sickern> Aus der undichten Leitung des Manometers, durch die schon seit einiger Zeit Bremsöl gesickert war, ...  
 <strömen> Kalte Luftmassen aus Osten sind seit gestern in unsere Region geströmt ...  
 <überlaufen> ... dass das Fass schon seit 15 Jahren übergelaufen ist.  
 <übersiedeln> ... wohin unser Kleinmeister schon seit 1846 übergesiedelt war ...  
 <umkippen> Über 30 Meter der Leitbleche seien seit Monaten abgesackt und umgekippt.  
 <umziehen> Der Laden ist seit April09 umgezogen in den Passagehof 24.  
 <unterschlüpfen> Die fünf Afghanen, die seit kurzem in Keitum untergeschlüpft sind, ...  
 <weggehen> ..., weil die Männer seit langem zur Fischerei weggegangen sind, ...  
 <weglaufen> Unser geliebter Midnight ist seit dem Wochenende weggelaufen.  
 <wegziehen> Die Eigentümer sind schon seit langem weggezogen ...  
 <zurückkehren> Ich hatte eine größere Reise gemacht und war schon seit einigen Tagen zurückgekehrt, ...  
 <zurückkommen> ... zwei Christen sind, die seit Kurzem aus Kenia zurückgekommen sind ...  
 <zurückweichen> ... jetzt, wo das Wasser seit Samstag doch zurückgewichen sei.  
 <zusammenkommen> ... wählten die 151 Delegierten, die seit Mittwoch in Frankfurt zusammengekommen waren, Oliver Albrecht.  
 <zusammenziehen> Da mein Partner und ich seit kurzem zusammengezogen sind, ...  
 <zustoßen> ich bin ja hier erst seit kurzem zugestoßen.  
 <zuziehen> Ich 35 & meine Tochter 16 Monate sind seit zwei Monaten zugezogen.

#### 出現・消滅

- <auftauchen> ... auf diesem Konto ist die falsche Aufladung seit einer Woche aufgetaucht.  
 <auftreten> Das Erbrechen war seit einer Woche aufgetreten, war nicht gallig ...  
 <aussterben> Die Gebirgsform, der Kaukasus-Wisent..., ist seit 1927 ausgestorben.  
 <entstehen> Die moderne Promenade "Bei der Erholung" ist erst seit 2003 entstanden.

- <erscheinen> Das Buch ist nunmehr seit 37 Jahren erschienen, ...  
 <verblühen> Die anderen Thymianpflanzen sind schon seit Monaten verblüht.  
 <verdampfen> Das Wasser ist schon seit 48 Stunden verdampft.  
 <verhallen> Der Startschuss zu Big Data ist schon seit Langem verhallt.  
 <verklingen> Die Kirschblütenzeit ist zwar seit Anfang Mai verklungen, ...  
 <verstummen> ... hier ist jegliches Kinderlachen schon seit Jahren verstummt.

## *sein + Partizip II*, Perfekt oder Resultativkonstruktion?

IKEUCHI, Nobuo

### Abstract

Bei der *sein + Partizip II*-Konstruktion fallen Perfekt und Resultativ zusammen (*Hanna ist vor einer Woche verreist.* (Perfekt/Eventiv) — *Hanna ist seit einer Woche verreist.* (Resultativ/Stativ)). Die Internet-Recherche hat ergeben, dass bei vielen unakkusativen Verben, vor allem solchen, die Zustandsveränderungen bezeichnen, *sein + Partizip II* mit dem durativen „seit“ möglich ist (*Der Putz ist seit langem abgebröckelt.; Das Büro ist seit Jahrzehnten verstaubt.*). Die resultativische Lesart ist jedoch bekanntlich oft mit schwankender Akzeptabilität verbunden. In diesem Beitrag werden einige Argumente dafür vertreten, dass die *sein + Partizip II*-Konstruktion einerseits primär als Perfekt interpretiert wird, und dass sie andererseits als eine Resultativkonstruktion im Deutschen etabliert ist, und schließlich dass die Schwankungen in Akzeptabilität darauf zurückzuführen sind, dass mit dem durativen „seit“ auf den Resultatzustand, der beim Perfekt nur impliziert ist, explizit referiert wird.

**【Key Words】** Perfekt, Resultativkonstruktion, Aspekt